

平成22年度

北海道赤レンガ建築賞

候補作品募集要領

近年、北海道の文化の発展や道民の生活環境の向上、美しい景観の形成や地域経済の振興などに建築物の果たす役割が、ますます重要となっています。

道では、建築文化の向上や、地域に根ざしたまちづくりの推進を図ることを目的として、地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物を「北海道赤レンガ建築賞」として表彰しております。

23 回目の今年の本要領により募集を行いますので、地域性に配慮し、歴史・風土に調和した美しい景観を創造する優れたデザインの建築物の応募をお待ちしています。

賞

北海道赤レンガ建築賞 1点 銘板、表彰状

北海道赤レンガ建築奨励賞 数点 表彰状

それぞれ、北海道知事が建築主、設計者、施工者を表彰します。

募集対象

北海道内に建設され、平成22年3月31日までに竣工した建築物及び建築物群とします。

なお、竣工後の経過期間がおおむね3年以内のものが、応募の対象となります。ただし、個人の利用に限定されるものは除きます。

応募の方法

応募は、建築主・設計者・施工者いずれの方でもかまいませんが、あらかじめ他の表彰対象者の了解を得るものとします。

応募用紙は、北海道建設部住宅局建築指導課のホームページ（下記URL）からダウンロードのうえ使用してください。

応募は、規定の応募用紙に必要な事項を簡潔に記載し、必要な図面、写真などを適宣貼付のうえ提出してください。

なお、応募時に提出された図面・写真等は、原則として返却いたしません。

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/>

応募登録料

応募作品 1 件につき
5,000 円

振込先：北洋銀行 本店営業部 (普) 2224441
口座名：北海道赤レンガ建築賞実行委員会
振込手数料については、各応募者においてご負担願います。

募集期間

平成 22 年 8 月 2 日 (月曜日) から
平成 22 年 8 月 31 日 (火曜日) まで

審査委員会

委員長 大野 仰一 (東海大学芸術工学部)
副委員長 鈴木 敏司 (社団法人日本建築家協会北海道支部)
委員 石原由美子 (社団法人北海道建築士会)
委員 瀬戸口 剛 (北海道大学大学院)
委員 圓山 彬雄 (社団法人北海道建築士事務所協会)

表彰時期

平成 23 年 1 月下旬 (予定)

主催者

北海道
(社) 日本建築家協会北海道支部
(社) 北海道建築士会
(社) 北海道建築士事務所協会

提出先及び問い合わせ先

北海道建設部住宅局建築指導課
〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
TEL (011) 204-5577 (直通)
FAX (011) 232-0147
URL : <http://www.do-sumai.jp/>

応募用紙記入要領

- 1 応募用紙は、上記URLよりダウンロードのうえ、使用してください。
- 2 応募用紙は、100g/m²程度の厚さとしてください。
- 3 応募用紙は白色としてください。
- 4 応募用紙⁰には、必要事項を記入してください。（ワープロ打ちとしてください。切り貼りも可）
応募用紙¹、²には、必要な図面・写真等を書き込み、または貼り込んでください（¹だけでも可）。
使用できる用紙は、⁰、¹、²の3枚以内です。
なお、別紙を添付できるのは応募用紙⁰のみですので、図面・写真等は、¹、²の2枚に納めてください。
- 5 応募用紙には、次の図面・写真は必ず記載、または貼り込んでください。
 - ・配置図
 - ・代表的な階の平面図
 - ・断面図（内部空間の状況がわかるもの）
 - ・外観写真（周辺の状況もわかるもの）
 - ・内観写真その他、必要に応じて図面や写真により、施設概要を的確に表現してください。

申込事前調書

提出可能期間 平成22年7月20日（火曜日）から
平成22年8月13日（金曜日）まで

上記期間内に、下記のサイトの申込事前調書メールフォームにより、応募予定建築物の情報を事前にお知らせいただいた上で応募された方には、「平成21年度北海道赤レンガ建築賞作品集」（非売品）を差し上げます。

なお、当該作品集は数に限りがあるため、予定数に達した際には期間内においても作品集の贈呈を終了とさせていただきますので、ご了承ください。

また、本調書の提出は任意ですので、提出の有無は応募要件では無いこと、そして、審査への影響はないことを申し添えます。

<http://www.do-sumai.jp/>

お知らせ

過去の受賞作品をまとめた冊子「北海道赤レンガ建築賞（1988～2007）」を、一冊500円（税込）で販売しております。

購入を希望される方は、道庁建築指導課（電話 011-204-5577（直通））へご連絡いただくか、または、下記のサイトにより購入方法をご確認ください。

http://www.do-sumai.jp/weblog02/2009/10/post_25.html

平成 21 年度北海道赤レンガ建築賞 受賞作品の紹介

北海道赤レンガ建築賞《岩見沢複合駅舎（JR 岩見沢駅 + 有明交流プラザ + 有明連絡歩道）》

受賞理由

岩見沢複合駅舎（JR 岩見沢駅+有明交流プラザ+有明連絡歩道）は、JRグループ全国初の公募型建築デザインコンペで求められた、駅舎が「まちの顔」となるような今後のまちづくりに対するビジョンに基づくとともに、建設プロセスにおける市民参加型協働プロジェクトの実施により、設計者の思いと市民の抱く期待の融合が実現した作品です。

さらに、鉄道と縁の深い街の記憶を残すためにレンガと古レールを意匠に採用し、ガラス、コンクリートといった素材とともに、ディテール処理に工夫をしながら、駅舎や公共施設などの市民交流の場として力強くかつ豊かな空間が形成されています。

完成後は、様々な市民活動やイベントが開催され、人が集まるまちの賑わい拠点となりつつあるなどの点についても審査員から高く評価されました。

写真撮影：小川重雄



北海道赤レンガ建築奨励賞《イコロの森》

受賞理由

「イコロの森」は、ゴルフ場開発予定地であった荒廃した100haの森を自然環境に配慮した施設整備をするとともに健康な森として再生を行い、北海道らしい「緑の世界」を創出した、建築とランドスケープが融合した作品です。

敷地内のショップやレストラン、ゲストハウスなどの建築群は、木造平屋のシンプルなフォルムで統一感のある色彩を施すとともに、敷地内で伐採した樹木の利用や道産材の特性を活かした工法の採用など、自然景観や周辺環境になじむ工夫が随所に見られます。

完成後は、学校の課外学習やまちの観光資源等として活用されており、これらの活動を通し、時間をかけながら、自然との共生や里山のあり方を探っていこうとする、長期的な視点に立った全体構想を有することなどの点が審査員から高く評価されました。

